

平成 28 年度事務事業評価表 (一般用)

事務事業名		810510 郷土の民俗芸能支援事業		担当部課	部課コード	810500	2998-9253	
事業コード		810510		文化財保護課				
開始年度		平成 5 年度		終了年度	年度			
事業の種類		自治事務		法定受託事務	法定受託 + 附加			
分野別計画・指針		所沢市教育振興基本計画		根拠法令				
関連・類似事業		指定文化財管理費等補助事業		文化財保護法 所沢市文化財保護条例				
総合計画の体系		章	教育・文化・スポーツ	節	市民文化	基本方針	風土に培われた歴史と文化を伝承します	
事業開始の背景		市内に伝承されているお囃子や獅子舞などを広く市民に周知し、文化財保護の機運を高めるとともに伝承者の後継者不足解消の一助にもなるよう、平成5年度から隔年で「伝統芸能発表会」を開始。事業開始以前からも郷土の民俗芸能を後世に護り伝えていくため、市の無形民俗文化財保存団体の自主的な活動に対しては継続的な支援を実施している。						
目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)								
市内に伝承されている民俗芸能を広く市民に周知し文化財保護の機運を高めるとともに、その技能や道具類を後世へ護り伝えていく。また、郷土の民俗芸能を継承する保存団体の存続と発展を目指す。								
対象(誰を、何を対象としているのか)								
市民				対象数	単位	平成 26 年度	342,564 人	
						平成 27 年度	343,067 人	
事業の具体的な内容及び実施方法								
伝統芸能発表会の開催(隔年) 郷土の民俗芸能を継承する保存団体の自主的な活動を支援								
会計種別		一般会計		平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)		
予算現額				0	489	0		
決算(見込み含む)				0	198			
(非常勤特別職員)		(臨時的任用職員)		(人)	(人)	(人)	(0.10 人)	
正規職員人件費				0.20 人	1,744	0.92 人	7,967	
事業費合計				1,744	8,165			
財源内訳		一般財源		1,744	8,165	0		
		国・県支出金						
		その他()						
項目名		項目説明		単位	H 26	H 27	H28見込み	将来目標
活動実績		伝統芸能発表会の鑑賞者数		人	-	580	-	
		重松流祭囃子保存会の活動参加者数		人	350	380	350	
		岩崎獅子舞保存会の活動参加者数		人	700	200	200	
項目名		項目説明		単位	H 26	H 27	H28目標値	将来目標
成果指標		民俗芸能の伝承者数		目標値	505	505	505	
		市指定無形民俗文化財「重松流祭ばやし」「岩崎獅子舞」の保存団体会員数		実績	505	505	<input checked="" type="checkbox"/> 実績拡大図 <input type="checkbox"/> 実績縮小図	
目標達成状況		どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	100	100	どちらかをチェックしてください
(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)				(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析				
継承団体の相互交流・後継者育成・市民への周知などを目的として、所沢市民文化センター・ミュージアムを会場に第12回「所沢市伝統芸能発表会」を開催した。発表会タイムスケジュール等の見直しを行うことによりより円滑な進行となり、観客の満足度も前回同様の高水準を記録した。(来場者アンケートの96%が好評)								
評価		事業実施方法(複数選択可)		理由		保存団体の自主的な活動を支援し、その技能や道具類を後世へ護り伝えていくとともに、市内に伝承されている民俗芸能を広く市民に周知するため。		
		<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了		<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 効率化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他				
		次年度予算		理由		隔年で行っている伝統芸能発表会を開催し、後継者育成の実践の場とすると共に、広く市民に周知するため。		
		<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持						
(1)平成28年度に取り組んでいる状況				(2)今後の方向性				
各保存会の定期的な活動を支援するとともに、隔年で開催されている伝統芸能発表会を引き続き行うための開催準備を進め、民俗芸能を広く市民に周知する。				隔年ではあるが伝統芸能発表会の開催を通じて、市内に残る民俗芸能の市民への普及と後継者育成を図っていきたく考えている。				
評価日		H28.8.10		評価者職氏名		文化財保護担当参事兼文化財保護課長 木村立彦		
有益な環境影響		5-4歴史・文化的環境の保全		有害な環境影響を及ぼす原因活動		伝承活動の周知		
環境影響						規制を受ける環境法令等 無 緊急事態 無		